

木洩れ陽

第40号 平成29年9月29日

発行：大阪府介護者（家族）の会連絡会

〒542-0065 大阪市中央区中寺 1-1-54

大阪社会福祉指導センター内

TEL 06-6762-9473 FAX 06-6762-9487

◆ 平成29年度 総会報告 ◆

【第1部：総会】

6月5日開催の総会において、昨年度の取り組みや今年度の事業計画などが報告・承認され、新役員が選任されました。新体制のもと、関係機関との連携を強化しながら、引き続き、誰もが安心して気軽に集うことのできる“居場所”づくりや、認知症など高齢者の分野だけでなくさまざまな分野の横のつながりを広げ、「我が事」としてみんなで支え合うための当事者・家族との交流、ゆるやかなネットワークづくりに取り組んでいきます。皆様のご協力よろしくお願いします。

平成29年度 役員体制

役職	氏名	所属
会長	坂口 義弘	茨木市
副会長	喜納 政本	大阪狭山市
	西浦 主一	泉南市
幹事	小谷川 淑子	羽曳野市
会計監査	勝井 和代	交野市
	中居 幸子	岬町
会計	増本 笑子	摂津市

平成29年度 事業計画

＜主な活動＞

- ・全体活動交流会の実施（年1回）
- ・ブロック別交流会の実施（各ブロック年1回）
- ・機関紙の発行（年2回）
- ・他団体、関係機関との情報交換
- ・マッセ市民セミナー、小ネットリーダー研修会への参加、協力
- ・認知症カフェや居場所づくりの取り組み等の視察

平成28年度 会計報告

《収入の部》

会費収入	125,000	25 会からの会費
寄付金	10,000	
助成金	200,000	ボランティアファンド
繰越金	41,589	
計	376,589	

《支出の部》

会議費	1,632	役員会運営
諸謝金	60,000	講師謝金
活動費	276,277	総会、全体活動交流会など
通信運搬費	18,450	
手数料	4,968	
計	361,327	

収入済額	376,589
支出済額	361,327
差引残額（次年度繰越額）	15,262

●新役員よりごあいさつ●

【会計監査：勝井 和代さん（交野市）】

平成 6 年 6 月に、大阪市内で生活していた主人の両親と同居することになりました。

義父は「肺気腫」、義母は「パーキンソン」と大変な病気でした。でも 2 人共、最期迄在宅介護することが出来ました。本当に幸せだったと思って居ります。8 年間の長い介護生活でした。介護が終わった後も交野市の会長をさせていただいて居ります。これからの高齢化社会、どのように変化していくのでしょうか。施設が出来ても、ヘルパーさんが足りないとか、益々在宅介護が重要視されます。

「介護者家族の会」は大切な必要な会になっていくと思います。皆様と共に務めていきたいと思って居ります。今年一年よろしくお願いします。

【第 2 部：講演会】「曖昧な喪失からとなりの認知症へ」



神垣 忠幸氏

「認知症エキスパートケア 認知症は怖くない」代表の^{かみがきただゆき}神垣忠幸氏から、認知症の基礎疾患や予防、介護者へのケアについて自身の母親への介護体験を踏まえた講演がありました。

認知症の方の介護者は、昨日までしっかりしていた家族が翌日になると変わってしまい、そこに存在するが以前のその人ではなくなってしまう『曖昧な喪失』を体験すると説明。以前の家族が戻ってきてくれると期待し、結果ストレスが増倍してしまうため、家族が以前と変わってしまったことを理解し、新たな関係を築くことが大切だと話しました。

また、認知症の周辺症状について、「何度も同じ話を繰り返す理由は、記憶に残っている自信のあることや分かることだけを繰り返し話しているから」と解説。さらに、「何度もトイレを探して徘徊するのは、私たちが初めて訪れる場所でまずトイレの場所を確認しようとするのと同じ。普段利用しているデイサービスを初めての場所だと思い、トイレの場所を確認しているだけであり、認知症の周辺症状は見方を変えると特別なことではない」と話しました。

神垣氏は「自立とは依存先を増やすことであり、介護という大きな問題をより多くの人に依存し、みんなで抱えれば介護者の負担は軽くなる」と述べ、会場の参加者全員で介護者（家族）の会の意義を再確認しました。

さらに、介護者を取り巻く社会の変革の必要性についても触れ、「認知症をはじめ障がいなど『さまざまな問題を構わない』とお互いに許し合い、依存を受け入れることのできる社会になることで、介護者や当事者の負担軽減につながる」と話しました。

参加者からは「自立は依存先を増やすことという言葉の意味を聞いた時、スッと心に落ちました」「先生のお母様に対する気もちが、自分の父に対する気もちと重なり共感して聞いていました。悪気なんてないとかわかっていても時にキツくなってしまい、反省することが多いです」などの感想が述べられ、認知症研究者であり介護者でもある神垣さんの、心に残る講演でした。



◇会員活動紹介◇

【交野市介護者（家族）の会】

平成6年11月、現在の介護保険制度もなく、関連施設も殆ど無い当時、交野市に「手をつなごう介護者の『和』」をモットーに家族の会が結成されました。今年で23年目になります。

現在、毎月の第4火曜日に定例会を開き、

- * 会員同士の介護体験などの座談会
- * 介護施設の見学会、福祉用具の見学会
- * 調理実習（介護食）
- * 講演会（口腔ケアについて）
- * 昼食会、レクリエーション
- * 講演会（認知症ケアとして臨床）
- * 介護保険制度の活用方法
- * 映画会
- * 会報発行（年3回）等

を行っております。又、介護を終えられた方に「一旦、聞いてよね」「こんな時どうすれば良い、教えてよね」を合言葉に、毎月会員が集まり、介護者同士が思いを分かち合い、要介護者にやさしい介護がどうすれば良いのか、介護者が心に余裕をもてる介護をめざし、みんなで支え合い一歩ずつ進んでいきたいと思っております。



【大阪狭山市介護者家族の会「たまゆら」】

会員の癒しとリフレッシュを大事にしています。

大阪狭山市は人口5万7千人の街で、日本最古のダム式ため池「狭山池」が有り、風光明媚で、地域の憩いの場として人々に親しまれています。

大阪狭山市介護者家族の会「たまゆら」は平成26年5月に結成され、介護者が悩みを抱え込まず、思いを分かちあい語られる集いの場をモットーに、大阪狭山市地域包括支援センター並びに民間事業所等の支援を受けて、3年を迎える事が出来ました。

活動の一例を紹介

介護者交流会 ～食の講座～

調理講習に 1. 栄養豊富 2. 手軽さ 3. 安価をテーマに、調理に不慣れな男性介護者の方にも参加いただき「料理の楽しみができた」との声があり、食の大切さを新ためて感じ、手作りランチに舌鼓しながら大いに盛り上がり、楽しいひと時を過ごしています。

今後も介護者家族と寄り添いながら活動をしていきたいと思っております。



情報コーナー

ブロック交流会のお知らせ

北摂ブロック：10月 4日(水)
河北ブロック：11月28日(火)
河南ブロック：1月31日(水)
泉州ブロック：12月 5日(火)



※詳細はブロックごとにご案内いたします。



RUN伴2017開催！

大阪府内介護者（家族）の会も参加します！



RUN 伴（ランとも）とは NPO 法人認知症フレンドシップクラブ主催で、今まで認知症の人と接点がなかった地域住民と、認知症の人や家族、医療福祉関係者が一緒にタスキをつなぎ、日本全国を縦断するイベントです。

2011 年に北海道ではじまり、昨年度は北海道から沖縄まで 5 ヶ月かけて日本を横断しました。今年度は日本を超えて台湾にタスキをつなぎます。

大阪には 10 月にタスキがわたり、10 月 1 日には岬町「ほほえみ」、熊取町介護者（家族）の会、10 月 21 日には摂津市老人介護者（家族）の会が参加します。

詳しくは <http://runtomo.org/> をご覧ください。

RUN 伴（ランとも）



遠距離介護セミナー2017 大阪



「こんなはずじゃなかった」と、ならない施設選び

「認知症が進んで退去を求められた」、「歩けるのになぜ車いすを…」こうした「困った」を避ける方法はあるのでしょうか。離れて暮らす親とのやりとりに悩んでいる方、ぜひご参加ください！

- ・主催：一般財団法人 住友生命福祉文化財団・NPO 法人パオッコ
- ・日時：11 月 19 日（日）13：00～16：00
- ・プログラム
第一部：「施設選びのビギナーが知っておくべきこと」
第二部：体験者と専門家が語る！お悩み軽減！遠距離介護アドバイストーク
- ・会場：「AP 大阪梅田茶屋町」JR大阪駅御堂筋北口より徒歩約3分
- ・参加費：無料

申込は **10月10日（火）** より受付開始です。

※申し込み方法等詳細は、各会事務局へ配布いたしますチラシをご覧ください。

